

総括表「食育の取組報告」

No.	取組実施主体	取組の名称	実施時期	取組内容
1	釧路短期大学	交流授業 「エゾシカ肉の利活用」	10月15日	エゾシカ肉を使ったソーセージ作り体験と試食、教室ではエゾシカ肉の優れた栄養や、命を無駄にしないために利活用を推進することの大切さについて講話を行った。
2	釧路短期大学	地域連携「コア大空食堂」	6月25日 10月21日 2月17日	臨床栄養学ゼミに所属する学生が考えたメニューを調理し、地域の方に提供を行う。
3	消費者協会 市民生活課・環境事業課	食品ロス削減パネル展	10月1日 ～ 10月31日	食品ロスの現状を知ってもらうことを目的とし、食品ロスの現状や削減の考え方、実践例などを紹介したパネルを展示した。
4	消費者協会 市民生活課・環境事業課	フードドライブ	10月29日 2月3.4日	家庭で余っている食品を集めて生活困窮者支援団体や福祉施設などに届ける事業であり、食品ロスの削減と貧困問題の解消を目的として実施。
5	消費者協会 市民生活課	よつば乳業の製品を使用した料理教室	11月8日	牛乳消費拡大事業の一環として実施。
6	環境事業課	食品ロス削減の普及啓発	通年	広報紙・ホームページ・SNS(Instagram・Facebook)等を活用し、食品ロス削減に関する周知啓発に取り組んだ。
7	環境事業課	フードドライブ	通年	食品廃棄物削減の取り組みを推進するため、「イオン釧路昭和店」内の、食品セルフレジ横に専用コーナーを設置し、令和5年4月から、毎月5日～11日の期間に定例として実施した。
8	釧路市食生活改善協議会 音別保健福祉課	親と子の料理教室	10月22日	音別小学校の児童と保護者を対象に調理実習を行った。
9	釧路市食生活改善協議会	キクイモ普及活動	10月22日	親と子の料理教室のなかでキクイモを使用し、「お菓子やジュースに含まれている砂糖の量」について講話を行った。
10	音別保健福祉課	小・中学生口腔衛生教室	10月26日	音別中学校1～3年生を対象に、う歯予防や歯肉炎予防に関する講話、ブラッシング指導等を行った。
11	音別保健福祉課	地区組織(釧路市食生活改善推進員)の養成・育成	令和5年4月 ～ 令和6年3月	地域で活動する食のボランティアの養成及び育成を行った。
12	釧路市漁協、釧路市東部漁協、阿寒湖漁協、釧路機船漁協、水産課	釧路おさかな教室	9月～3月	市内小学生及び市民団体等を対象に釧路産水産物の調理やさばき方実習を行った。
12	釧路市漁協、釧路市東部漁協、阿寒湖漁協、釧路機船漁協、水産課	釧路産水産物の提供	3月(予定)	釧路産水産物の提供を通じた魚食普及を目的として、野のはな園通園児を対象に平成30年より実施。今年度は、3月に約72食(通園児45名、職員27名)提供予定。
13	釧路市漁協、釧路市東部漁協、阿寒湖漁協、釧路機船漁協、水産課	夏休み親子水産加工体験教室	8月1日	釧路産水産物の加工体験教室等を通じた釧路産水産物のPRや魚食普及を目的とし、市内小学生とその保護者を対象に加工体験教室を実施。
13	釧路市漁協、釧路市東部漁協、阿寒湖漁協、釧路機船漁協、水産課	加工体験教室	11月8日、 12月20日	釧路産水産物のPRや魚食普及を目的とし、釧路市民を対象に加工体験教室を行った。
14	釧路市漁協、釧路市東部漁協、阿寒湖漁協、釧路機船漁協、水産課	釧路公立大学での講義	10月 ～ 11月	釧路地域の水産業をより身近なものとして理解してもらうため、各分野の専門家を招き、釧路の水産業についての知識や魚食普及の推進を目的として実施した。
14	釧路市漁協、釧路市東部漁協、阿寒湖漁協、釧路機船漁協、水産課	出前講座	10月17日	釧路の水産業についての現状を知ってもらい、知識や魚食の普及を推進させることを目的として講座を開催した。
15	阿寒農業協同組合	出前授業	11月18日 11月24日	阿寒農協青年部員がスライドを使い、対象小学生に「くしろ酪農」について分かりやすく説明した。また、根釧牛乳の試飲を行った。
16	釧路市農業農村経営生産推進会議、農林課	牛乳消費拡大事業	8月～11月	各種イベントにおいて、模擬牛による搾乳体験や牛乳パック工作を実施した。MILK de HAPPYフェアでは、釧路市内のフェア参加飲食店が牛乳・乳製品を使った料理やスイーツの提供を行った。
17	釧路市農業農村経営生産推進会議、農林課	出前授業	7月6日 1月19日 1月26日 2月8日	市内幼稚園や保育園において、牛乳に関する食育授業を実施。クイズや模擬牛を使用した搾乳体験の他、ミルクカーや牛のエサなどを展示した。
18	こども育成課 (子育て支援拠点センター)	子育て講座「おいしく楽しく離乳食」	9月21日	4～6か月の乳児を育てる母親を対象に、母乳育児や離乳食、子どもとの関わり等について学ぶ教室を年4クール(1クール4回)開催。「はじめての離乳食」の回は、離乳食の進め方と基本を学ぶ事を目的に、実演や試食などを交えて例年開催している。(今年度は試食等は行わなかった)
19	こども育成課 (子育て支援拠点センター)	子育て講座「親子でにっこり！楽しい食事」	3月7日	0歳～就学前の子を持つ母親・その家族、妊婦、子育てに携わっている方を対象に、大人も一緒に楽しい食事になるよう、子どもがいる家庭の食事作りのポイントを伝える。
20	こども育成課 (子育て支援拠点センター)	子育て講座「はじめての離乳食」	4月25日 6月30日 10月19日 1月31日	第1子育てる家庭を対象に、離乳食の基本的な知識について学び、乳児期から、食べることが楽しく感じられるような対応や環境作りの大切さを伝える。
21	こども育成課 (保育担当)	食生活アンケート調査	年1回	基本項目(朝食の摂取状況やそれに係る生活時間)の他、テーマを決めて保護者へ協力を依頼してアンケート調査を実施し、給食だよりや園内の掲示等で、結果を周知している。
22	こども育成課 (保育担当)	給食だよりの配布	毎月	毎月の献立をお知らせして給食で提供しているメニューを周知する。また、食について(保育園で提供している献立の作り方、季節の行事と食、地産地消、栄養についてなど)情報提供を行う。

総括表「食育の取組報告」

No.	取組実施主体	取組の名称	実施時期	取組内容
23	こども育成課 (保育担当)	地産地消の日	11月10日	地元釧路産の「鮭」を使用した「石狩汁」を提供し、給食時に栄養士からも説明を行い、食材の普及啓発を図った。
24	こども育成課 (保育担当)	食育授業「へんしんたべもの！これな～んだ？」	8月～9月	食材がどんな過程を経て、給食や食卓に届くのかを知ってもらうため、釧路市公立保育園・認定こども園の園児を対象に実施。
25	こども育成課 (保育担当)	親子食育の日	1月	保育参観時に親子で給食を食べ、家庭での食事作りの参考や、給食を通じて食事を話題にするきっかけにもらう事を目的に実施。2歳児クラスの保護者には、栄養士から朝食や食事バランスの大切についての講話を行う。
26	健康推進課	乳幼児健康診査	通年	乳幼児及び保護者を対象とし、身体計測、医師による問診及び診察、保健師による保健指導、管理栄養士等による栄養指導、幼児の場合は、歯科医師による口腔内の診察を行う。
26	健康推進課	妊婦相談	通年	妊産婦及びその家族を対象と市、母子健康手帳交付時や、電話、訪問等により、保健師及び助産師等が、妊娠・出産・育児に関する個別相談に応じる。
26	健康推進課	キッズ健診結果説明会	10月～12月	小学5～6年生の児童及び保護者を対象とし、生活習慣病予防健診(血液検査含む)の受診結果に基づき、数人の集団方式と、個別方式を併用し、保健師により、食生活や運動などの生活習慣に関する保健指導を行う。
26	健康推進課	若者健診結果説明会	5月以降 通年	18～39歳の市民を対象とした若者健診(生活習慣病予防健診)受診結果に基づき、保健師が個別に肥満改善やメタボリックシンドロームの発症及び重症化予防のための保健指導を行う。
26	健康推進課	くしろ健康まつり	10月1日	コーナイベントの一つとして、市民団体(健康くしろサポータークラブ)による野菜の重さあてクイズを実施。また北海道栄養士会釧根支部の協力により、栄養相談コーナーを設置した。
26	健康推進課	健康教育	通年	幼稚園や企業、サークルなどの依頼に応じ、保健師が各ライフステージに応じた健康の保持増進に関する講話を実施。
27	教育支援課 (給食担当)	ふるさと給食 (鯨肉給食、姉妹都市ふるさと給食)	6.10.11.12 月	ふるさと釧路の素晴らしさを再認識してもらうために平成2年度から年3回程度実施。令和5年度は6月ふき、10月たら、12月くじらの3回実施した。姉妹都市ふるさと給食では姉妹都市提携60周年を記念し、鳥取市と湯沢市の郷土料理や特産品を用いた献立を11月に提供した。
28	教育支援課 (給食担当)	鹿肉給食	6月	地場産業の振興及び地域資源の活用を目的に、エゾシカ肉の有効活用に取り組み、その一環として平成19年からエゾシカ肉を学校給食で提供を開始した。令和5年度は市内小中学校で「もみじちゃんこ汁」や「もみじ団子のスープカレー」を提供した。
29	阿寒保健福祉課 (認定こども園阿寒幼稚園)	やきいもパーティー	10月17日	0歳～5歳児が在園しており、園庭に舞い落ちる落ち葉を集めて、焼きいもパーティーをおこなった。
30	阿寒保健福祉課 (釧路市立マリモリ幼稚園)	畑作りと野菜の収穫を通して	5月15日～ 9月15日	野菜の種をまき、水やりや草取りなどのお世話をしながら、育てた野菜の成長に関心を持ち、収穫の喜びを味わうことをねらいとして、畑作りを行う。
31	児童発達支援センター	野菜栽培・収穫	6月～9月	栽培や収穫等の活動を通して、自然と親しみ、野菜に興味関心を持つとともに、野菜を食べようとする気持ちを育てることを目的として、数種類の野菜作りを平成28年度より実施。
32	児童発達支援センター	地産地消を推進した給食献立の実施	6月～11月	地元でとれた農水産物を地元で消費する地産地消を推進するため、「地元でとれた食材の良さを理解しもっと愛用しよう」をコンセプトに、釧路産の食材を使用した給食を実施。
33	児童発達支援センター	食育指導の実施	7月25日～8 月9日、 10月24日～ 11月8日	野菜の栄養やそれらを使った給食献立についての話をし、食材への興味関心を高め、給食を食べようとする気持ちを育てる。
34	児童発達支援センター	栄養と食事に関する座談会の実施	8月25日	子どもの偏食などの食事全般に関わる悩みを共有し、対応方法について共に考えていくことで保護者の精神的負担を減らし家庭での食事作りが前向きに行えるようにすることを目的として実施。
35	児童発達支援センター	施設見学会における食育の取組の展示	10月	を対象に実施した「児童発達支援センター施設見学会」において、食育コーナーを設け、食育の取り組み内容を来訪者に対して情報発信を行った。食育コーナーには、日頃の食育指導実施の様子や使用した教材を展示した。
36	児童発達支援センター	おさかな教室の実施	10月17日	釧路産の旬の水産物を知ってもらい、実際に捌くところから調理の仕方まで学ぶことを目的として実施。
37	介護高齢課	短期集中予防サービス (口腔機能向上プログラム)	8月5日～ 10月21日	歯科衛生士や言語聴覚士などが、口の中の健康を保つ方法や呼吸法・体操などを指導する。
38	介護高齢課	介護予防継続教室	通年	介護予防プログラム「わかがえりレッスン」を実施。レッスンの中では、噛む・飲み込む力の訓練のための口腔ケアが含まれ、顔・舌体操や構音訓練などを実施している。
39	地産地消くしろネットワーク	出前授業	6月～12月	釧路市内の小学生を対象に、くしろの産業と地場産品への関心や理解を深めてもらうため、地元を支えている企業の方を講師に招き出前授業を行った。
40	地産地消くしろネットワーク	親子で地産地消バスツアー	8月	釧路市内の小学生とその親を対象に、釧路市の産業の見学や地場産品を使用した体験等を通して、釧路市の産業や地場産品の認知度向上と家庭での消費拡大を図る。
41	地産地消くしろネットワーク	親子で地産地消体験	1月	釧路市内の小学生とその親を対象に、地場産品に触れる体験と地場産品を使用した親子で作れる簡単料理を通して、地場産品の認知度向上と家庭での消費拡大を図る。
42	国民健康保険課	国保特定保健指導の実施	通年	市国保特定健康診査を受診し、特定保健指導の対象となった方に、生活習慣改善のポイントなどの保健指導を行う。

総括表「食育の取組報告」

No.	取組実施主体	取組の名称	実施時期	取組内容
43	釧路市教育委員会	早寝・早起き・朝ごはん運動	4月～3月	早寝・早起きで良い生活習慣を形成し、朝ごはんを食べることで良い食生活習慣を身につけることの大切さをわかりやすく掲載した「望ましい生活習慣等啓発リーフレット」を作成し、各小学校、義務教育学校へ配布を行う。
44	釧路市教育委員会	小学生フッ化物洗口 (口腔健康管理事業)	6月～3月	市内の全小学校でフッ化物(フッ化ナトリウム水溶液)による洗口を開始した。